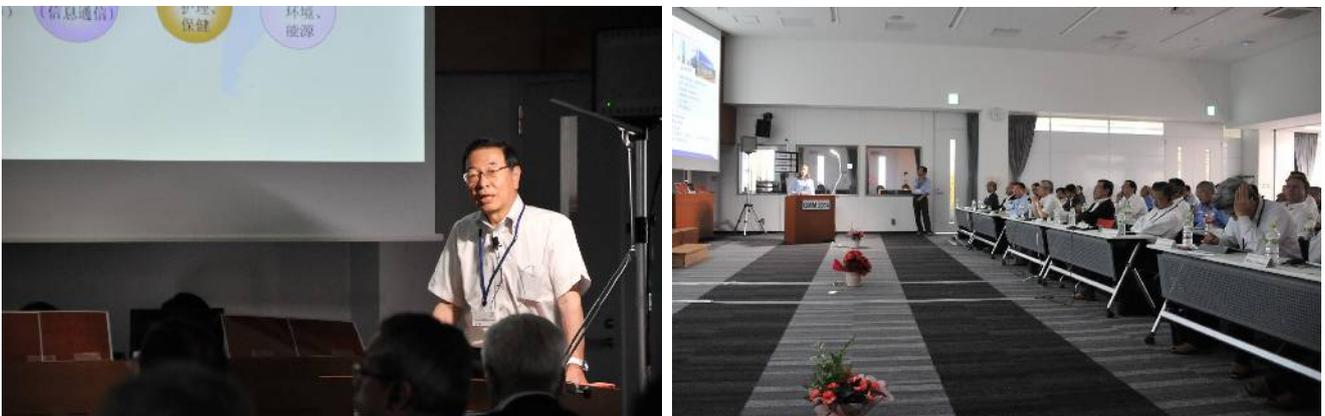


「Global Managers Meeting 2014」実施 ～拠点代表者が集結し持続的成長に向けて団結～

東海ゴム工業株式会社（本社：愛知県小牧市、代表取締役社長：西村義明）は5月27日（火）と28日（水）の2日間、国内外の拠点の代表者が一堂に会して経営方針や事業戦略を共有する会議「Global Managers Meeting 2014」（GMM2014）を実施しましたので、お知らせいたします。



当社グループは、新興国を中心とする新規拠点設立や欧州・南米企業の買収・子会社化により、全世界での製品供給体制の整備を進めております。現在のグローバル拠点数は102カ所と、この5年間で倍増しております。GMMは、こうした拠点同士が経営目標を共有し、グローバルでの事業展開を加速していく契機とするため、今回初めて開催しました。

当社の研修センター「鵜沼三学館」（岐阜県各務原市）で開催したGMMの会合には、国内外の拠点の幹部ら約120名が出席し、当社グループ全社と各事業本部の事業戦略や各拠点の経営方針について、それぞれの担当役員・幹部が説明し、情報を共有しました。西村社長は「まずは2014年度の事業計画を着実に実行し、それを踏まえて、2020年代初頭に連結売上高1兆円の『グローバル・エクセレント・マニュファクチャリング・カンパニー』となる目標を全世界の拠点で共有することにより、実現に向けてベクトルを合わせて取り組んでいきましょう」と力強く訴えました。

当社は、更なる拠点網の構築を推進するとともに、2014年10月1日に実施する「住友理工株式会社」への商号変更を起爆剤として、グローバルでのブランド力向上に取り組んでまいります。各拠点におきましても、当社グループの持続的成長に向けて一丸となって製品開発や営業展開を強化してまいります。

以上